

2022年度 実務経験のある教員による授業科目 交通機械工学科

| 学科共通科目 | | | | | | |
|--------|-----|------|--------|------------------------|--|--------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 配当年次 | 担当教員名 | 期間 曜日 時限 | どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか | 備考 |
| CAD | 2 | 1年生～ | 伊藤 一也 | 前期 水曜 1時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 自動車の開発における実務経験を活かし、3D CADで取り扱う内容と自動車における技術的な課題を関係づけて実例を挙げ、学生のCADに対する理解を助ける。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 工業力学1 | 2 | 1年生～ | 田代 勉 | 前期 木曜 3時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用システム開発）22年力の分解・合成、力の釣合い、重心の計算を中心に自動車用システム開発時に活用したことについて実例を挙げて説明し、学生の理解を助ける。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| | | 1年生～ | 梶井 一英 | 前期 金曜 1時限 | 自動車製造業研究者（原動機・動力伝達機構の研究）27年 力学などの基礎科目、原動機学など専門科目においてエンジンやトランスミッションの研究開発で経験した実例を関連づけて紹介する。これにより実際の応用についても理解を広げる。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 工業力学演習 | 1 | 1年生～ | 伊藤 一也 | 後期 月曜 4時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 自動車の開発における実務経験を活かし、工業力学で取り扱う内容と自動車における技術的な課題を関係づけて実例を挙げ、学生の工業力学に対する理解を助ける。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 工業力学2 | 2 | 1年生～ | 伊藤 一也 | 後期 月曜 3時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 自動車の開発における実務経験を活かし、工業力学で取り扱う内容と自動車における技術的な課題を関係づけて実例を挙げ、学生の工業力学に対する理解を助ける。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 材料力学 | 2 | 1年生～ | 丸山 太加志 | 後期 金曜 2時限 | 製造業技術者（エンジン設計4年、シャシ設計7年） 講義では、実務を通して経験した強度設計の実例を挙げることで、学生達の理解を深める。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 材料力学演習 | 1 | 1年生～ | 丸山 太加志 | 後期 金曜 3時限 | 製造業技術者（エンジン設計4年、シャシ設計7年） 講義では、実務を通して経験した強度設計の実例を挙げることで、学生達の理解を深める。 | 新課程（1～2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 機械動力学 | 2 | 2年生～ | 大津山 澄明 | 後期 水曜 2時限 後期 水曜 3時限 | 実務経験：鉄道技術者（鉄道車両設計・保守等）33年 実務経験を活かし、鉄道車両の電動機・振動等の具体例を授業で解説する。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| | | | 田代 勉 | 後期 水曜 3時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用システム開発）22年実務経験を活かし、減衰振動、回転体の運動、平衡点などを中心に、自動車用システムの開発時に生じる問題点の実例を挙げて解説する。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 機械設計学1 | 2 | 2年生～ | 伊藤 一也 | 前期 水曜 2時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 自動車の開発における実務経験を活かし、機械設計学1で取り扱う内容と自動車における技術的な課題を関係づけて実例を挙げ、学生の機械設計に対する理解を助ける。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |

【単位数合計】 92単位

2022年度 実務経験のある教員による授業科目 交通機械工学科

| 学科共通科目 | | | | | | |
|---------------|-----|------|--------|------------------------|--|------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 配当年次 | 担当教員名 | 期間 曜日 時限 | どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか | 備考 |
| コンピュータプログラミング | 2 | 2年生～ | 伊藤 一也 | 後期 金曜 3時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 自動車の開発における実務経験を活かし、コンピュータプログラミングで取り扱う内容と自動車における技術的な課題を関係づけて実例を挙げ、学生のコンピュータプログラミングに対する理解を助ける。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 交通原動機学 1 | 2 | 2年生～ | 梶井 一英 | 後期 水曜 2時限 後期 水曜 3時限 | 自動車研究開発者（原動機・動力伝達機構の研究）27年の経験を活かし交通原動機の専門技術を教授する。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 流体力学 | 2 | 2年生～ | 眞下 伸也 | 前期 月曜 2時限 | 担当教員は、高速走行のため空気の流れによる影響が著しい新幹線車両の開発・設計業務に長年の間従事しており、その経験による「リアリティ」をできる限り伝えることによって、流体力学が社会においてどのように活用されているか、その重要性も含めてしっかりと認識し、授業内容を活かした知識として自分のものにできるようになることを目指します。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 振動工学 | 2 | 3年生～ | 田代 勉 | 後期 木曜 1時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用システム開発）22年実務経験を活かし、自動車および自動車に搭載されるシステムにおける振動的な特性や振動現象を実例として用いて解説する。 | 旧課程（3～4年生） |
| 車体設計論 | 2 | 3年生～ | 丸山 太加志 | 後期 火曜 2時限 | 製造業技術者（エンジン設計4年、シャシ設計7年） 講義では、実務を通して経験した強度設計の実例を挙げることで、学生達の理解を深める。 | 旧課程（3～4年生） |
| 自動車構造論 2 | 2 | 3年生～ | 丸山 太加志 | 前期 木曜 2時限 | 製造業技術者（エンジン設計4年、シャシ設計7年） エンジン部品およびシャシ設計の実務経験を活かし、自動車を構成する各部品の構造・機構に関する工夫を設計者の観点から解説する。 | 旧課程（3～4年生） |
| カーエレクトロニクス | 2 | 3年生～ | 田代 勉 | 前期 木曜 5時限 | 実務経験：製造業技術者（自動車用システム開発）22年 実務経験を生かし、企業における開発での実例に基づいて、自動車の制御システムにおける課題や開発の状況、制御内容について説明する。 | 旧課程（3～4年生） |
| 電気駆動システム | 2 | 3年生～ | 梶井 一英 | 前期 金曜 3時限 | 自動車研究開発者（原動機・動力伝達機構の研究）27年の経験を活かし原動機・動力伝達系のメカトロニクスの専門技術を教授する。 | 旧課程（3～4年生） |

2022年度 実務経験のある教員による授業科目 交通機械工学科

| 自由科目 | | | | | | |
|------------------|-----|------|-------|------------|---|------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 配当年次 | 担当教員名 | 期間 曜日 時限 | どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか | 備考 |
| 解剖・生理学 | 2 | 1年生～ | 大槻 伸吾 | 後期 木曜 4 時限 | 臨床医の実務経験を活かして、スポーツ医学および健康科学に関する指導を行う。 | 新課程（1年生） 旧課程（2～4年生） |
| スポーツ医学（内科系1） | 2 | 2年生～ | 横井 豊彦 | 後期 火曜 2 時限 | 実務経験（内科医）を24年有する教員が担当するため、医療現場での実例などを交える。 | 旧課程（2～4年生） |
| スポーツ指導論 | 2 | 3年生～ | 瀬戸 孝幸 | 後期 水曜 3 時限 | 企業チーム（日本代表含め）、ユニバーシアード、大学日本代表スタッフ等、U-24の強化スタッフの経験を活かし、スポーツ指導における役割、意義、価値などスポーツに関する専門的知識や指導法を提供する。 | 旧課程（2～4年生） |
| 環境衛生学 | 2 | 3年生～ | 大槻 伸吾 | 前期 木曜 5 時限 | 臨床医の経験から、環境因子が人の健康や衛生向上に与える影響を解説する。 | 旧課程（2～4年生） |
| 公衆衛生学 | 2 | 3年生～ | 横井 豊彦 | 前期 水曜 2 時限 | 実務教員経験（内科医）24年（社会医学系専門医）4年、近年の実例を織り交ぜた講義を行う。 | 旧課程（2～4年生） |
| スポーツ医学（内科系2） | 2 | 4年生～ | 横井 豊彦 | 前期 月曜 4 時限 | 実務経験（内科医24年）を担当教員が有するため、実際の医療現場での例などを盛り込む。 | 旧課程（2～4年生） |
| 商法 | 2 | 2年生～ | 山本 到 | 後期 月曜 4 時限 | 保険会社、一般企業および独立行政法人において32年間企業法務を担当。企業法務での経験を活かして、実務的な観点から教育を行います。 | |
| 会社法 | 2 | 3年生～ | 山本 到 | 前期 月曜 5 時限 | 保険会社、一般企業および独立行政法人において32年間企業法務を担当。企業法務での経験を活かして、実務的な観点から教育を行います。 | |
| 財務管理論 | 2 | 3年生～ | 石坂 秀幸 | 後期 水曜 1 時限 | 銀行業務32年（うちコンサルタント担当職務10年以上）の経験を活かし、財務管理について概説。 | |
| サプライチェーン・マネジメント論 | 2 | 3年生～ | 石橋 岳人 | 後期 月曜 1 時限 | サプライチェーンの構築に関して、実際の企業に向けてのコンサルティング経験を基に、事例やマネジメントゲームによって、知識を伝えるだけではなく、より実践的な講義を実施します。 | 旧課程（3-4年生） |
| ロジスティクス論 | 2 | 3年生～ | 石橋 岳人 | 後期 月曜 2 時限 | ロジスティクスの仕組み作りに関して、実際の企業に向けてのコンサルティング経験を基に、事例紹介を通じて、知識を伝えるだけではなく、より実践的な講義を実施します。 | 旧課程（3-4年生） |

2022年度 実務経験のある教員による授業科目 交通機械工学科

| 自由科目 | | | | | | |
|--------------|-----|------|-------|------------|---|------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 配当年次 | 担当教員名 | 期間 曜日 時限 | どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか | 備考 |
| e コマース論 | 2 | 3年生～ | 原田 良雄 | 前期 木曜 3 時限 | 実務経験教員：ビジネスソフトウェア設計・開発・保守10年、通信サービス等研究10年、企画書審査2年情報管理能力を向上を目指して、実践的かつ論理的な観点から教育を行う。 | 旧課程（3-4年生） |
| ミクロ経済学 | 2 | 2年生～ | 李 東俊 | 後期 木曜 2 時限 | 三星生命5年、Leading Inverstment Securities 2年、LEE & HYUN Advisory & Investment 2年、Fund ManagerとAnalystとしての経験を生かして経済学についての基礎知識の習得ができるように教育を行う。 | |
| オペレーティングシステム | 2 | 2年生～ | 山田 耕嗣 | 後期 水曜 4 時限 | 実務経験：民間情報サービス企業、技術者（機器制御組み込みSE）7.5年、セールスサポートSE（基幹業務系情報システム企画、基本設計）10.5年、技術系組織部門責任者2年、民間情報コンサルティング企業 間接部門1年、間接部門責任者7年（いずれも経理・人事・総務・管理系部門）上記を活かした内容：機器制御組み込みSE時の経験を踏まえ講義を行う。 | 旧課程（2～4年生） |
| システムの最適デザイン | 2 | 3年生～ | 山田 耕嗣 | 前期 月曜 3 時限 | 実務経験教員：民間情報サービス企業、技術者（機器制御組み込みSE）7.5年、セールスサポートSE（基幹業務系情報システム企画、基本設計）10.5年、技術系組織部門責任者2年、民間情報コンサルティング企業 間接部門1年、間接部門責任者7年（いずれも経理・人事・総務・管理系部門）上記を活かした内容：民間情報サービス企業 セールスサポートSE時の経験を踏まえ講義を行う。 | 旧課程（3～4年生） |
| 建築設備工学 | 2 | 2年生～ | 山崎 政人 | 後期 火曜 3 時限 | 建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（28年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 建築環境工学 | 2 | 2年生～ | 山崎 政人 | 後期 火曜 4 時限 | 建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（28年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 構造工学Ⅰ | 2 | 2年生～ | 和多田 遼 | 前期 木曜 1 時限 | 構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士）実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 構造工学Ⅱ | 2 | 2年生～ | 和多田 遼 | 後期 木曜 1 時限 | 構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士）実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |
| 建築構法 | 2 | 2年生～ | 中名 太郎 | 後期 金曜 4 時限 | 建築設計事務所3社で計12年、独立して15年設計・監理業務に携わる。計27年の実務経験を活かし建築構法に関する基礎知識を修得出来るような教育を行う。 | 新課程（2年生） 旧課程（3～4年生） |

2022年度 実務経験のある教員による授業科目 交通機械工学科

| 自由科目 | | | | | | |
|--------|-----|------|--------|------------|--|--------------------------|
| 科目名 | 単位数 | 配当年次 | 担当教員名 | 期間 曜日 時限 | どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか | 備考 |
| 建築材料学 | 2 | 2年生～ | 中名 太郎 | 後期 金曜 5 時限 | 建築設計事務所 3 社で計12年、独立して15年設計・監理業務に携わる。計 27年の実務経験を活かし建築材料に関する基礎知識を修得出来るような教育を行う。 | 新課程 (2年生) 旧課程 (3～4年生) |
| 建築法規 | 2 | 3年生～ | 吉岡 秀周 | 前期 水曜 5 時限 | 長年、建築指導行政に関わってきましたので、その経験を活かしクライアント及び近隣住民からの苦情対応など生の声を法的解釈を交え講義します。また、難解といわれる建築基準法の規定について、設計事例やテクニックを交えわかりやすく講義します。法律の規定に対し形式的に理解するだけでなく、規制や基準の目的を本質的に理解し、社会に出た時に対応できるようになることを目指します。 | 旧課程 (3～4年生) |
| 構造計画論 | 2 | 3年生～ | 和多田 遼 | 前期 金曜 2 時限 | 構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士）実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。 | 旧課程 (3～4年生) |
| 廃棄物論 | 2 | 2年生～ | 花嶋 温子 | 後期 木曜 1 時限 | コンサルタント会社研究員（廃棄物計画）3年、コンサルタント自営（環境及び廃棄物計画）7年、この経験を活かして、現場で必要な知識を伝授する。 | 新課程 (2年生) 旧課程 (3～4年生) |
| 環境政策論 | 2 | 2年生～ | 花田 眞理子 | 前期 水曜 5 時限 | 実務経験：金融機関調査部（経済）2年、教育機関研究所（行動科学）8.5年調査部における調査手法を紹介しながら、環境政策の現状をどのように理解するか、事例を挙げながら紹介していく。 | 新課程 (2年生) 旧課程 (3～4年生) |
| 熱力学 2 | 2 | 2年生～ | 川野 大輔 | 後期 木曜 1 時限 | 公的研究機関において14年間熱流体に関する研究開発を行った経験を基に、社会での具体的な適用例を挙げながら講義を進める。 | |
| 制御工学 1 | 2 | 2年生～ | 中山 万希志 | 後期 月曜 4 時限 | 企業の研究部門に 29 年間に在籍した経験を活かし、主に応用事例に関して解説する。 | |
| 制御工学 2 | 2 | 3年生～ | 中山 万希志 | 前期 月曜 4 時限 | 企業お研究部門に 29 年間に在籍した経験を活かし、主に応用事例に関して解説する。 | |
| 知的財産 | 2 | 4年生～ | 鳥居 洋 | 前期 火曜 5 時限 | 弁理士として、特許出願等の知的財産権の手続の代理または鑑定などの業務に培った経験に基づき、発明等の把握と権利取得等に必要な知識を提示する。 | |
| 制御工学 1 | 2 | 2年生～ | 入江 満 | 後期 金曜 2 時限 | 民間企業研究者(電子制御研究開発)17年の実務経験に基づく知見を交えて解説する。 | 旧課程 (2～4年生) |
| 電子回路設計 | 2 | 3年生～ | 熊本 敏夫 | 後期 木曜 3 時限 | 製造業技術者（電子回路設計）30年の実務経験に基づく知見を交えて解説する。 | 旧課程 (3～4年生) |